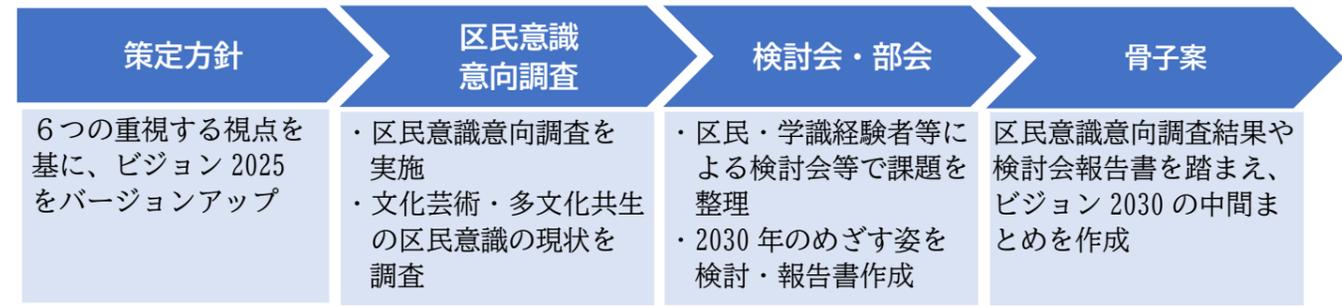


1 策定にあたって

〇いたばし文化芸術・多文化共生ビジョン2030



〇ビジョン2030の策定経過



2 区民意識意向調査の結果概要（文化芸術の一例）

〇実施概要

◆回収結果（有効回答数/有効回答率）  
 区民：729票/36.6%  
 中学生：712票/90.4%  
 他区民：600票/100%

◆板橋区の文化の特徴

- 1位：絵本のまち（36.9%）
- 2位：自然と歴史と文化のまち（21.1%）
- 3位：区民による多様な文化芸術が活発なまち（19.6%）
- 4位：伝統文化や郷土芸能を継承するまち（18.7%）

◆文化芸術鑑賞率 ◆鑑賞しなかった理由  
 （ ）内は前回調査 ・仕事・育児等で忙しい  
 区民：73.4%（75.8%）（区民1位：32.2%）  
 中学生：75.4%（81.6%）・興味・関心がない  
 他区民：59.3%（59.8%）（中学生1位：42.2%）

◆区が重点的に取り組むべきこと  
 1位：子ども等の文化芸術機会の充実（51.6%）  
 2位：伝統文化の保存・継承・周知（41.2%）  
 3位：板橋の特色ある文化芸術の創造支援（36.2%）  
 4位：「絵本のまち板橋」の取組（29.6%）  
 5位：文化芸術を支える人の育成支援（29.1%）

◆文化芸術活動率 ◆活動しなかった理由  
 （ ）内は前回調査 ・きっかけがない  
 区民：27.3%（30.8%）（区民1位：39.6%）  
 中学生：39.6%（38.4%）・興味・関心がない  
 他区民：20.5%（18.8%）（中学生1位：45.5%）

◆伝統芸能・郷土芸能の継承等に必要なもの  
 認知度：28.1%（区民）、53.1%（中学生）  
 1位：学校教育（44.4%）  
 2位：低廉な値段の公演（34.8%）  
 3位：情報提供（32.2%）  
 4位：体験等の充実（30.3%）

◆文化施設の利用促進のための取組  
 1位：誰もが気軽にくつろげる空間（61.7%）  
 2位：文化芸術の情報提供（59.4%）  
 3位：板橋ならではの文化に触れる（20.9%）  
 4位：多言語などユニバーサルデザインの推進（18.5%）

◆子どもの文化芸術活動促進に必要な取組  
 1位：子どもが参加できる文化芸術事業実施（66.0%）  
 2位：学校教育の充実（44.6%）  
 3位：子ども対象の鑑賞機会充実（44.2%）  
 4位：アーティストを学校に派遣（34.0%）  
 5位：質の高い文化芸術事業（26.3%）

3 区民意識意向調査の結果概要（多文化共生の一例）

〇実施概要

◆回収結果（有効回答数/有効回答率）  
 外国人区民：713票/24.3%  
 日本人区民：737票/36.9%

◆日本の生活での困りごと・心配ごと  
 1位：健康保険・年金・税金など（38.3%）  
 2位：災害・緊急時対応（28.8%）  
 3位：病院・医療（27.2%）  
 4位：行政情報の難しさ（23.3%）

◆区の住みやすさ（外国人）  
 「住みやすい（64.0%）  
 +「まあまあ住みやすい（32.0%）」  
 →合わせると96.0%が住みやすい

◆生活をしていく上でしたいこと（外国人）  
 1位：生活習慣、ルール、文化等を理解（52.3%）  
 2位：日本語が話せるようになる（36.9%）  
 3位：地域住民との会話・挨拶（32.4%）  
 4位：地域活動へ参加（23.6%）

◆日本語を学んでいない人の今後の学習意欲  
 ・積極的に学びたい  
 +機会があれば学びたい（66.5%）  
 【前回調査比▲12.2%】  
 ・あまり学びたくない  
 +学びたくない（24.4%）  
 【前回調査比+12.2%】

◆生活していく上でしてほしいこと（日本人）  
 1位：生活習慣、ルール、文化等を理解（61.9%）  
 2位：地域住民との会話・挨拶（4.9%）

◆日本人がした方が良くと思うこと（外国人）  
 /外国人に望むもの（日本人）  
 1位：外国の文化・生活習慣理解（27.1%/27.3%）  
 2位：日本語・日本の習慣紹介（20.3%/26.3%）  
 3位：日頃から外国人住民と会話（15.4%/20.1%）

◆地域活動への参加意欲  
 ・町会等のイベント（祭りや防災訓練など）参加している（20.9%）  
 →今後（も）参加したい（60.2%）  
 ・お年寄り等を支援するボランティア参加している（2.8%）  
 →今後（も）参加したい（42.2%）

◆今後、取り組むべき施策（外国人）  
 1位：災害や緊急時対応（46.4%）  
 2位：日本人との交流機会創出（30.6%）  
 3位：日本人の外国文化への理解（29.5%）  
 ◆今後、取り組むべき施策（日本人）  
 1位：災害や緊急時対応（55.8%）  
 2位：大人対象の初級日本語教室（41.4%）  
 3位：外国人の子どもへの日本語教育（36.6%）

4 検討会・部会での意見（一例）

- 〇「絵本×伝統工芸品」など、文化要素の融合で相互の魅力が拡大
- 〇学校教育と連携し、教育の場に文化芸術を浸透させていくことが必要
- 〇文化施設でものづくりや文化体験などの区民が参加できる体験イベントを区が企画すると区の文化が盛り上がる。
- 〇認知度を上げるには、多方面からの同時多発的PRと子どもを巻き込んだ宣伝が効果的
- 〇文化芸術に触れる時間がない人のために、SNSを活用した文化芸術体験があると良い。

- 〇外国人も一区民であるという意識の醸成が必要
- 〇10年・20年後に日本を支える人、自立した社会人にするためには、日本語学習支援に力を注ぐべき。
- 〇外国人と接する手段として、やさしい日本語が1つのコミュニケーションツールとなる。
- 〇外国人が日本に貢献するためには、言葉の壁を克服した先で、情報の壁を感じさせない社会にすることが重要
- 〇外国人に区民としての意識、責任感を持たせるには、交流のきっかけを作っていくほかにはないのではないか。

第1章（いたばし文化芸術・多文化共生ビジョン2030）

基本理念

文化の輪でつながり ともに歩む 笑顔ゆたかなまち

ビジョン2030の基本理念は、「豊かな心で楽しむ文化が、人と人のつながりを創造するまち」を継承しつつ、文化的背景の異なる人々の平等なつながり、相互尊重と共通目標への前進、文化活動がもたらす心の豊かさを重視します。

また、板橋区基本構想の「あたたかいところ」「ともに歩む」「笑顔あふれるまち」の要素を取り入れ、5年後の文化芸術・多文化共生の姿を表現します。

重点目標

1 板橋の特色ある文化芸術×愛着と誇りの醸成 まち

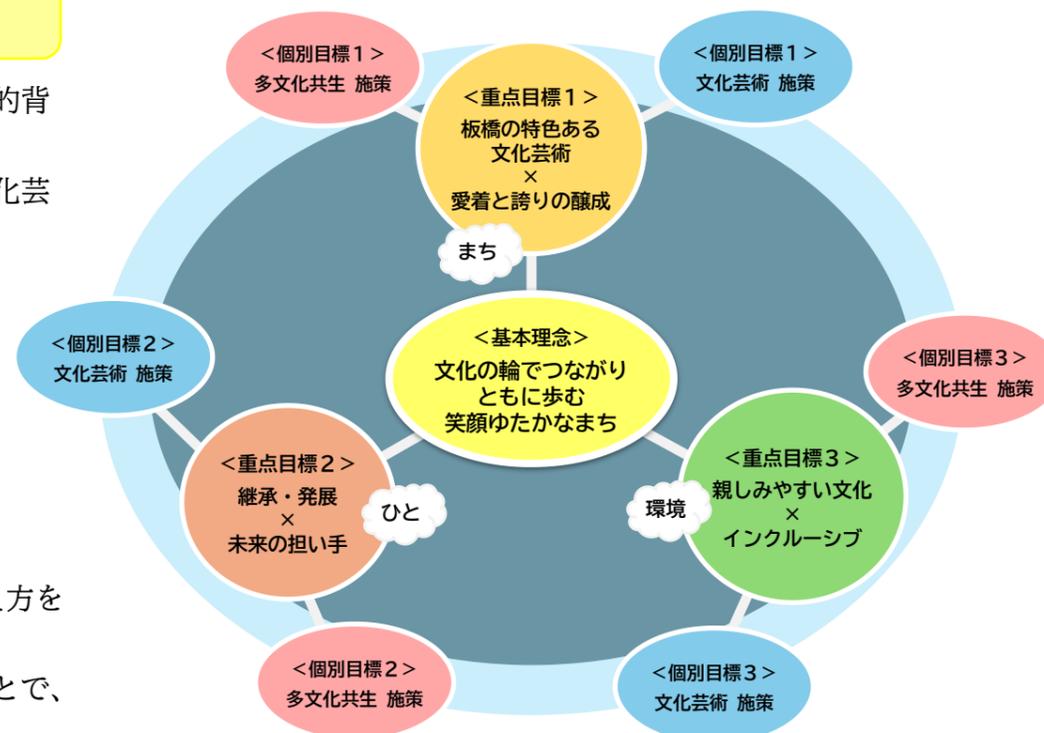
2 継承・発展×未来の担い手 ひと

3 親しみやすい文化×インクルーシブ 環境

ビジョン2030では、文化芸術と多文化共生の特性を活かし、両分野に共通する施策を重点目標として設定する考え方を継承します。さらに、基本理念を頂点に重点目標と個別目標の関連性を強化し、相乗効果を高めます。

また、施策の主軸となる柱（まち・ひと・環境）を設定し、重点目標と個別目標の横と縦のつながりを構築することで、一体的な取り組みを推進します。

（ビジョン2030イメージ図）



第2章（文化芸術編）

◆前ビジョンにおける課題

- ・「絵本のまち板橋」のブランド及びPR強化
- ・文化芸術の担い手の育成、技術、活動の継承
- ・文化芸術活動の支援
- ・誰もが親しめる文化施設の推進
- ・文化芸術鑑賞・活動機会の支援 など

基本目標

歴史と伝統・多様な文化を親しみ、紡ぐひとをはぐくむ

個別目標1 板橋の特色ある文化芸術があふれた、魅力あるまちづくり

- 施策の方向性
- 「絵本のまち板橋」のブランド強化
  - 板橋の特色ある文化芸術の創造・享受

個別目標2 次代への継承と発展につながるひとづくり

- 施策の方向性
- 次代を担う人材の育成
  - 歴史と伝統の浸透

個別目標3 誰もが文化芸術を身近に感じる環境づくり

- 施策の方向性
- 自分らしく表現・体験・参画できる環境の整備
  - 親しみのある文化施設への推進
  - 障がい者の文化芸術活動の推進

第3章（多文化共生編）

基本目標

言葉と文化の違いを乗り越え、ともに歩むひとをはぐくむ

個別目標1 多文化共生意識が浸透し、こころがつながるまちづくり

- 施策の方向性
- 多層的な国際理解・多文化理解の推進
  - 外国人との交流機会の拡充

個別目標2 言葉の違いを超えて、ともに歩むひとづくり

- 施策の方向性
- 日本語学習支援強化
  - コミュニケーション支援の推進

個別目標3 笑顔で住み続ける環境づくり

- 施策の方向性
- ライフステージに応じた生活情報と各種支援
  - 地域コミュニティへの参加支援

◆前ビジョンにおける課題

- ・多文化共生意識の浸透
- ・日本語教育の強化・拡張
- ・やさしい日本語の普及・活用
- ・外国人も住みやすい環境の充実
- ・外国人との共存・共生 など

第4章（ビジョン2030の推進のため）

- 推進体制
- 各主体の期待される役割（区、教育委員会、区民、文化・国際交流財団、関係団体）

6 今後のスケジュール

- 令和7年9月 (骨子) 庁議、文化芸術・多文化共生推進調査特別委員会
- 令和7年11月～12月 (素案) 庁議、文化芸術・多文化共生推進調査特別委員会
- 令和7年12月 パブリックコメント募集
- 令和8年2月 (最終案) 庁議、文化芸術・多文化共生推進調査特別委員会